

自分にとって松山聾学校とは・・・高3生の自立活動の授業から

先日、高等部3年生の自立活動の授業で「自分にとって松山聾学校は
どういう存在か」というテーマで話し合いが行われました。幼稚部から
通っている生徒、途中で転校してきた生徒、それぞれの「思い」で真剣
に松山聾学校の存在について語ってくれました。

一部ですが御紹介します（生徒が特定されないよう表記を一部変えて
います）。

【松山聾学校に通ったメリット】

- 良き友達ができ、毎日が面白い。
- 自立活動の勉強があること。
- 充実した教育が受けられた。
- (聴覚障害があることが)目立たない。
- 手話で話せること。
- 情報保障が充実している。

【松山聾学校に通ったデメリット】

- 同年代の健聴者とのかかわりが少ない。
- 人数が少ないから、自分の力が分からない。
- 競争する人数が少ない。
- 先生と一対一の授業は、ちょっと・・・。
- 世間が狭い(噂が立つのが早い)。
- 部活の数が少ない。

【もしも、松山聾学校に通っていなかったら】

- だらしない生活をして、毎日過ごしていると思う。
- 孤独になって、引きこもりになっていたと思う。
- 高校には行ってないと思う。
- 今の自分のアイデンティティは形成されなかった。

【松山聾学校が自分の人生に及ぼした影響】

- いい意味で性格が変わった。
- 一生の友達ができただから、嬉しかった。
- 暗かった性格が明るくなった。
- これからの生活にも影響するだろうと思うぐらいの大きな影響。
- 人生捨てたもんじゃないな。

松聾106周年！

松山聾学校は、今年で106周年を迎えました。

温泉郡余土村の村長であった森恒太郎（盲天外）氏が主唱し、松山市二番町に「私立愛媛盲啞学校」を創立したのが本校の始まりです。そして、仮開校式を開催した明治40年10月16日を、創立記念日としています。



松山市二番町にあった頃の校舎（民家）



本校に残っている最も古い(?)教科書(昭和9年発行)

【松山聾学校の歴史】

- 明治40年10月16日 私立愛媛盲啞学校が創立される。
- 昭和4年4月1日 愛媛県立盲啞学校になる。
- 昭和23年4月1日 愛媛県立聾学校になる。
- 昭和27年9月1日 愛媛県立松山聾学校になる。
- 昭和47年5月1日 現在の馬木町校舎に移転する。
- 平成19年10月16日 創立100周年を迎える。
- 平成25年10月16日 創立106周年を迎える。

今年もあります！文化祭・福祉機器展示

平成25年10月20日（日）の文化祭で、今年もトーション松山店さんの御協力により、福祉機器展示を行います。

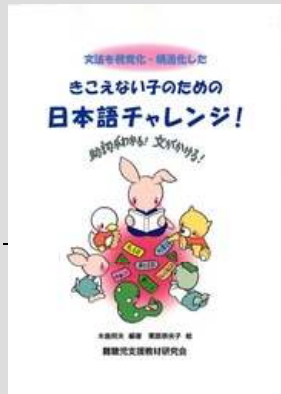
場所は本館3階の中学習室4です。開始時刻は11時からとなります。光や振動等で情報を知らせてくれる屋内信号装置や強力目覚ましなどを展示する予定です。実際にさわって確かめることができますので是非お立ち寄りください。

また、同じ場所で、「聾学校の歴史」と題して、昔の補聴器や教科書等の展示も行う予定です。

新刊の御案内①

「きこえない子のための日本語チャレンジ！」

木島照夫 編著
 栗原奈央子 絵
 2013年7月発行
 A4版 184頁
 定価 1,600円 (送料別)
 ※申込は次のいずれかへ



難聴児支援教材研究会
 FAX 03-5980-8158 (永井)
 nanchosien @ yahoo.co.jp
 全国早期支援研究協議会
 FAX0480-34-9631 (木島)
 soukisien @ yahoo.co.jp

新刊の御案内②

「たのしいゆびもじ(A4版)」



絵は、これまでの大型のもの (B3版) と同じで、表に「自分指文字・動詞編」を、裏に「相手指文字・名詞編」を配置。両面コーディングされています。

定価 350円 (送料別割引有)
 5枚以上: 300円/1枚
 10枚以上: 250円/1枚
 B3版 + A4版のセット
 1,200円

※申込先

全国早期支援研究協議会
 FAX0480-34-9631 (木島)
 soukisien @ yahoo.co.jp

日本財団よりお知らせ

「電話リレーサービスモニター募集！」

「電話リレーサービス」という言葉を聞いたことはありますか？

電話リレーサービスは電話へのアクセスを保障するために世界20カ国以上で公的サービスとして普及・定着していますが、残念ながら日本においてはまだそのような制度はありません (財団ホームページより)。

この度、日本財団では電話リレーサービスの試験サービスを実施することになりました。興味がある方は、ホームページを御覧いただくか、財団までお問い合わせください。



ホームページ <http://trs-nippon.jp/>
 お問い合わせ [cc @ ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:cc@ps.nippon-foundation.or.jp)
 ※メール件名に『電話リレー』と記入

NHKより

「こども手話ウィークリー
 動画配信のお知らせ」

こども手話ウィークリーを番組のホームページで見ることができるようになりました。しかも一ヶ月分の放送を見ることができます。

<http://www.nhk.or.jp/shuwa/>

もう見逃しても大丈夫 (?) かもしれませんね。

全日本ろうあ連盟より
「情報アクセシビリティ
・フォーラム」の開催に
ついて



【日時】

平成 25 年 11 月 22 日
～ 24 日
14 時～ 18 時

【会場】

秋葉原 UDX
《東京都千代田区》

【内容】

映像エリア

…デフ映画館

会議エリア

…国際／国内ワーク
ショップなど

展示エリア

…情報通信展示ゾ
ーン

…体験・啓発ゾ
ーン

…放送・映像展示
ゾーン

…関連展示・販売
ゾーン

【ホームページ】

<http://www.jfd.or.jp/iaf/>

愛媛大学より

「TREASuRE カンファレンス」の御案内

子育て支援と教育・療育というサブテーマの下、公開講座やワークショップが行われています。詳細は、愛媛大学の苅田先生のホームページ（「カーリーラボ」で検索するとヒットします： <http://www.karilab.jp/>）より、TREASuRE カンファレンスのページを参照してください。なお、一部の講座は終了しています。



人工内耳友の会「愛媛」より

第8回「人工内耳説明・相談会」の御案内

日時：平成 25 年 11 月 3 日（日）
14 時～ 18 時

場所：松山市総合福祉センター
大会議室（1F）
《松山市若草町 8 番地 2》

内容：「人工内耳について、そして
最新情報」

愛媛大学医学部附属病院

羽藤直人 先生

「人工内耳のリハビリテー
ション」

愛媛大学教育学部

高橋信雄 先生



編集後記

先日の愛媛新聞（10月5日朝刊6面）に、鳥取県の「手話言語条例制定へ」という見出しが。そして社説（10月8日朝刊2面）にも取り上げられました。今回の鳥取県の条例制定は社会の中で手話が少しずつ理解されている中での流れともいえます。この条例案が画期的なのは、手話を言語として位置付けたことに加え、県に手話の普及や使いやすい環境整備を義務づけたということです。聴覚障害者の一層の社会参加に向けて、情報保障等のサポートに県が責任を持って取り組むということですから、今後、他の自治体のお手本として広がって欲しいと思います。また本校でも、聴覚障害教育の高い専門性の1つとして手話のスキル向上に努めていかなければならないなと感じました。